

会議報告書（議事録）

| | | | |
|---|---|--|--------|
| 会 議 名 | 令和3年度第1回 地域包括支援センター運営協議会 | 報告者 | 森田 由貴恵 |
| 開催の日時・場所 | 日時：令和3年10月14日（木）15：30～16：15 場所：合志市役所防災センター避難所① | | |
| 出席者 | 委員 | 水上次雄会長・関祐子副会長・来海恵子委員・野崎智美委員・松岡博委員 坂口静枝委員・中川和子委員・溝口寛子委員・森涼子委員・城島秀子委員 | |
| | 事務局 | 花田秀樹高齢者支援課長・森田由貴恵課長補佐・矢幡茜主幹 | |
| 欠 席 者 | なし | | |
| 進行：事務局 矢幡 花田課長 議長：水上委員 説明：事務局 森田 来海委員 事務局 来海委員 事務局 来海委員 | <p>1 開会 高齢者支援課長挨拶</p> <p>2 役員（会長・副会長）選出 会長：水上委員 副会長：関委員</p> <p>3 議題 【議題1】合志市包括支援センターの概要と運営状況について</p> <p>【質疑】 地域ケア会議の計上の方法を令和2年度から変更した理由と、例年通りの計上方法であれば何件であったのか説明してください。</p> <p>3職種（保健師・社会福祉士・主任ケアマネージャー）に加え、地域の生活支援コーディネーターが出席する個別の会議も地域ケア会議に加えることができるということで計上するようにしました。それを加えなくても事業所等が参加する通常の会議も増加傾向にあります。</p> <p>ということはこれまでも着実に対応していたが、よりワンストップで対象者に細やかな対応ができる体制に変わったということですか？</p> <p>その通りです。</p> <p>高齢者の安心確保事業の件数が減ってきている理由として、安価な民間サービスが増えてきているとありましたが、申請しても許可が下りないという話もあります。申請と許可の数は、設置数と差がありますか。</p> | | |

| | |
|------|--|
| 事務局 | 申請数と設置数との差は若干あります。事業対象者が一人暮らしの高齢者の世帯に加え、転倒や持病などにより緊急対応が必要な方、心疾患などで救急車で搬送されたことがある方などになります。申請があっても地域ケア会議で協議をし必要かを吟味しています。 |
| 来海委員 | 85歳を超えたら足腰も弱ってきますが、質問されるとできると答える。そういったことも加味して、民生委員などの話も聞いて幅を持たせてほしい。これは要望です。 |
| 事務局 | 参考にします。 |
| 松岡委員 | 緊急通報装置を押すと警備員がすぐに来られるのですか。 |
| 事務局 | 通報があればまず警備会社が本人と会話をし、状況に応じ救急車を要請します。また、登録されている支援員に連絡が行きます。連絡がつかない場合は警備員が現場に駆け付けます。 |
| 松岡委員 | 質問した理由は、過去に夜に、緊急通報装置を利用しているまったく知らない人の家に出動してほしいと、女性の民生委員から相談があり出向いたことがあったためです。警備員が出動すると聞き安心しました。 |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(事務局から補足) 緊急通報装置の利用者は、緊急連絡先を2名、おおむね10分以内に駆け付けることができる協力員（民生委員の場合もあります）を2名登録する必要があります。通報があった場合は、状況に応じ、まずはそのどちらかに連絡があります。ただし、夜間帯（21時から翌日7時）は協力員に代わり、駆け付け員を警備会社が派遣することになっています。</p> </div> |
| 森委員 | 私も民生委員ですが、緊急通報装置の支援員の登録者が2人は県外、もう1人は私ということがありました。支援員は近い方がよいと思います。救急車に同乗し聞き取りも受けましたが、いつも近くで様子を知っている人を登録してもらったほうがよいと経験から思いました。 |
| 来海委員 | 民生委員だけでなく、自治会長も入れてみたほうがよいと思います。また冷蔵庫の中に安心ほっとライン（福祉票）を入れてもらうと、緊急連絡先がすぐわかるので、緊急通報装置利用者の支援員（近所の人）に伝えておくと便利です。 |
| 関委員 | 冷蔵庫に安心ほっとラインのシールを貼っている方で、冷蔵庫を買い直したためにシールがなくなった方があります。 |

| | |
|--|--|
| 野崎委員 | <p>高齢者世帯や障がい者に福祉票の登録をしていただくことが民生委員の見守りの活動の一つとしてあります。安心ほっとラインといいます。筒に入れて冷蔵庫に入れて、冷蔵庫にシールを貼っています。冷蔵庫は何かあっても倒れないということからですが、本当は玄関すぐの位置のほうが救急隊員にもわかりやすいと意見をいただいています。シールも緊急性を強調したものに変更しました。今回は、その見守りの人たちがつながると安心というご意見ですので、持ち帰り、包括支援センターとも話をさせていただきたいと思います。</p> |
| 来海委員 | <p>警備会社とも連携をとるようお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>警備会社にも情報提供をしたいと思います。</p> |
| 水上議長 | <p>高齢者サービスは、ち密なアイデアが必要です。事務局は様々な課題がありますがよろしくお願いします。他に質問はありませんか。</p> |
| 松岡委員 | <p>私は民生委員ですが、今、難しいと感じていることは、ひきこもりの方や認知症の方への対応です。包括支援センターの協力をお願いします。</p> |
| 野崎委員 | <p>若者のひきこもりについては、ヴィーブルに相談窓口を設けているので連携をとっていきたいと思います。</p> |
| 事務局 | <p>ヴィーブルの相談窓口には、安心サポート合志のほかに包括化推進室があり、そこは、福祉課や健康づくり推進課や女性子ども支援課など、一つの家族に様々な問題があり一つの課のみでは対応できない場合中心となって、一緒になって支援していく事業を行っています。認知症の高齢者のみの問題であれば、包括支援センターが対応しますが、その家庭にひきこもりの若者の問題などがあれば包括化推進室と連携をとって対応しますので相談いただければと思います。</p> |
| 野崎委員 | <p>先ほど、認知症関係教室の参加人数が減少しているという説明でしたが、コロナ禍の為教室の収容人数を半分になっていることも理由の一つですので補足します。</p> |
| <p>【議題2】 その他 特になし</p> | |
| <p>4 閉会</p> | |
| <p style="text-align: right;">【議事終了】</p> | |